
2014年3月期 第2四半期連結決算説明会

大陽日酸株式会社
2013年11月7日



目 次

1. 2014年3月期 上期連結業績
2. セグメント情報
 - ◆事業セグメント
 - ◆収益改善進捗状況
 - ◆地域セグメント
 - ◆地域別トピックス
3. 2014年3月期 通期連結業績予想



2014年3月期 上期連結業績

2014年3月期 上期連結業績

単位：億円

	13年3月期 上期 利益率	14年3月期 上期 公表値(8/21)	14年3月期 上期 (実績)	前期比 増減率
売上高	2,282	2,520	2,496	+213 +9.4%
営業利益	125 5.5%	146 5.8%	143 5.8%	+18 +14.6%
経常利益	120 5.3%	138 5.5%	141 5.7%	+22 +17.9%
当期純利益	△79 △3.5%	102 4.0%	122 4.9%	+201 —

2014年3月期 上期連結業績

前年同期比 増減分析(1)

【売上高】	+213億円	
国内	+ 24億円	産業ガス△16億円、エレクトロニクス+12億円 エネルギー+11億円、その他+17億円
海外	+189億円	北米+120億円、アジア+69億円 (うち為替の影響 +128億円[北米+95億円、アジア+33億円])
【営業利益】	+18億円	
国内	△2億円	エレクトロニクス収益回復、機械装置販売減
海外	+21億円	北米+16億円、アジア+4億円 (うち為替の影響 +6.8億円[北米+4.5億円、アジア+2.3億円])
【経常利益】	+22億円	
		持分法による投資利益+2.6億円

2014年3月期 上期連結業績

前年同期比 増減分析(2)

【特別損益】	+294億円	
前期	事業整理損他	+235億円
当期	新橋ビルほか売却益	+38億円
	投資有価証券売却益	+32億円
	関係会社整理損	△5億円
	早期退職費用	△3億円
	有価証券評価損 他	△3億円
【当期純利益】	+201億円	

2014年3月期 上期連結業績

その他決算数値

(単位: 億円)

	13年3月期 上期	14年3月期 上期	増減
設備投資	159	136	23
投融資	17	7	10
減価償却費	156	183	+27
(うち、のれん償却費)	12	16	+4
FCF (営業CF-投資CF)	-11	149	+160

	13年3月	13年9月	増減
総資産	6,158	6,527	+369
自己資本	2,037	2,322	+285
純有利子負債	2,286	2,271	15
ネットD/Eレシオ	1.12	0.98	0.14

・減価償却費:
為替影響、新規連結、海外での設備投資により増加

・FCF:
支払税金減少および固定資産売却により大幅増加

・純有利子負債:
ドル為替による増加要因(+95億円)あるも、FCFの増加により前期末比減少

⇒ネット D/Eレシオ:
自己資本増加により1倍以下に

セグメント業績

2014年3月期 上期 事業セグメント業績

単位: 億円

	2013年3月期		利益率	2014年3月期		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
産業ガス	1,483	112	7.6%	1,639	106	6.5%
エレクトロニクス	461	△6	△1.3%	485	22	4.6%
エネルギー	174	7	4.4%	185	6	3.4%
その他	163	17	10.8%	185	15	8.2%
調整額		△6			△6	
合計	2,282	125	5.5%	2,496	143	5.8%

産業ガスセグメント

単位: 億円

	2013年3月期 上期			2014年3月期 上期			増減	
	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益
セグメント 合計	1,483	112	7.6%	1,639	106	6.5%	+10.6%	5.2%
国内	981			965			1.6%	
海外	502			674			+34.4%	
バルク・オンサイト	800			851			+6.5%	
国内	648			652			+0.6%	
海外	151			199			+31.4%	
パッケージ	484			579			+19.5%	
国内	152			147			3.2%	
海外	332			432			+29.9%	
機器・プラント	197			207			+5.2%	
国内	180			165			8.2%	
海外	17			42			+145.0%	

バルク・オンサイト
 国内: 鉄鋼化学向けオンサイト好調、液製品は需要伸び悩みで前期比マイナス
 海外: 北米での為替の影響および数量増、アジアの新規連結

パッケージ
 海外: 北米での為替の影響および数量増
機器・プラント
 国内: プラント受注案件減少
 海外: リーデンでの増収

エレクトロニクスセグメント

単位:億円

	2013年3月期 上期			2014年3月期 上期			増減	
	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益
セグメント 合計	461	▲6	-1.3%	485	22	4.6%	+5.2%	-
国内	356			368			+3.3%	
海外	104			116			+11.6%	
ガス	354			359			+1.2%	
国内	262			254			3.3%	
海外	92			105			+13.8%	
機器・工事	105			125			+18.5%	
国内	93			114			+21.6%	
海外	12			11			5.3%	

ガス

国内: 特殊ガスおよびアルゴンガス売上減継続
海外: 北米・アジアでの為替影響による増収

機器・工事

国内: 工事売上増および名古屋工業大学向けMOCVD納入
海外: 台湾での売上減少

エネルギーセグメント

単位:億円

	2013年3月期 上期			2014年3月期 上期			増減	
	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益
セグメント 合計	174	7	4.4%	185	6	3.4%	+6.4%	18.4%
ガス	156			169			+8.0%	
関連機器	17			16			7.8%	

ガス

猛暑の影響での民生用を中心に売上げ数量減少
円安による仕入れコスト上昇から売上高は増加

その他セグメント

単位:億円

	2013年3月期 上期			2014年3月期 上期			増減	
	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益	利益率	売上高	営業利益
セグメント 合計	163	17	10.8%	185	15	8.2%	+13.2%	14.8%
国内	158			176			+11.4%	
海外	5			9			+80.0%	
メディカル	85			89			+5.4%	
国内	85			89			+5.4%	
海外	0			0			-	
サーモス	66			82			+24.2%	
国内	61			74			+21.3%	
海外	5			8			+70.4%	
その他	12			12			+4.1%	
国内	12			12			+4.1%	
海外	0			0			-	

メディカル
 ガス関連堅調
 機器関連は病院向け設備および在宅関連機器堅調
 サーモス
 新製品売上好調

収益改善進捗状況

単位:億円

	14年3月期 通期目標	14年3月期 上期実績
電力料金値上げに対する産業ガス収益改善	5.0	△0.1
特約店との連携強化	8.0	0.0
国内エレクトロニクス関連事業の収益改善	8.0	6.0
北米事業の収益改善	25.0	※ 16.1
アジア地域の事業拡大	5.0	※ 4.8
合計	51.0	26.8

※ 上期実績に為替および新規連結の影響を含む

2014年3月期 上期 所在地別セグメント業績

単位: 億円

	2013年3月期		利益率	2014年3月期		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
日 本	1,670	111	6.7%	1,695	108	6.4%
米 国	454	10	2.4%	574	27	4.7%
そ の 他	157	8	5.5%	226	13	6.0%
調 整 額		△5			△5	
合 計	2,282	125	5.5%	2,496	143	5.8%

地域別トピックス

日本

- ◆メディカル事業拡充
- ◆開発案件進捗状況

北米

- ◆プラント増設

アジア

- ◆新規市場開拓

医療ビジネス拡充 (日本)

パシフィックメディコ株式会社買収

【会社概要】

- 従業員 : 60名
- 資本金 : 95百万円
- 事業内容 : 呼吸器系医療機器の開発、製造、輸入、販売、メンテナンス
- 主な商品 : 人工呼吸器、パルスオキシメーター、睡眠検査装置

※在宅用人工呼吸器(気管切開患者向け)では、国内トップシェア



【買収の概要】

- 買収方法 : 大陽日酸による株式買収(100%)
- 株式取得日 : 2013年10月1日

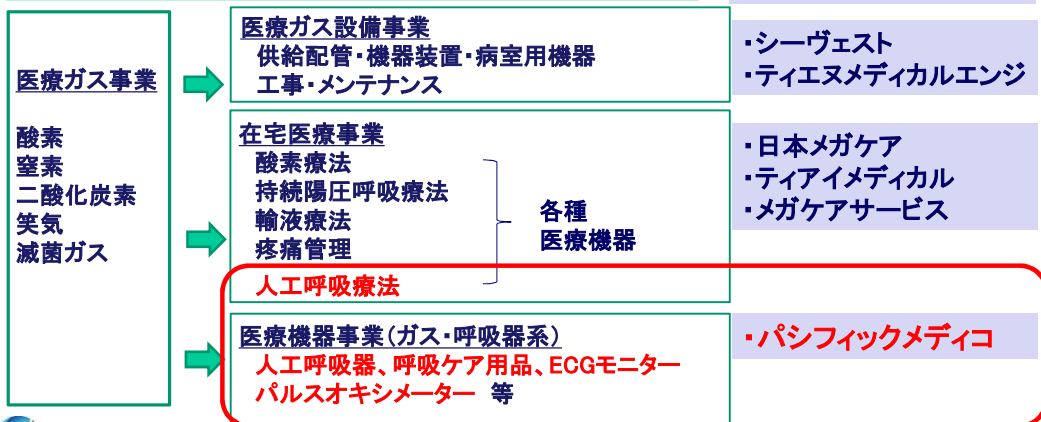


医療ビジネス拡充 (日本)

【買収目的および医療ビジネス展開イメージ】

<買収目的>

- ◆呼吸ケア事業領域の拡充、メーカーとしての基盤の強化
- ◆睡眠事業への本格参入
- ◆医療機器での海外事業展開



開発案件進捗状況 (日本)

1. 医療・医薬研究用凍結保存システム

【2013年度実績】

- ・ 上期実績 0.7億円
- ・ 通期見込 3.7億円

＜納入先(見込含)＞

- 国立大学研究所 2件
- 独立行政法人 2件
- 国立研究所 2件



開発案件進捗状況 (日本)

2. 高温超電導用 ネオン冷凍機

国内外の超電導プロジェクト向けに
営業活動を推進中



3. 水素ステーション

2015年までの100ヶ所建設計画本格始動
エネルギー会社向け設備納入の見込み



液化ガス事業拡大 (北米)

空気分離装置新設の進捗状況

➢フロリダ州	Lakeland	2013年3月稼働開始
➢ノースダコタ州	Dickinson	2013年5月稼働開始
➢アリゾナ州	Mesa	2014年5月完成予定

今後も年間1~2基の液生産プラント新設の予定

Lakeland ASU



Dickinson ASU



新規市場開拓 (アジア)

インドネシア サマトール社との合弁会社設立

【インドネシア市場】

- ・東南アジア有数の人口・経済大国
- ・堅調な経済成長 <GDP成長率: 6.2% ('12年), 6.3%('13年予想)>
- ・産業ガス市場の成長率は年率20~25%と高水準
- ・日系企業による活発な投資 <'12年は405件、約25億ドル>

主な進出企業: トヨタ自動車、ダイハツ、ホンダ、スズキ、三菱自動車
パナソニック、シャープ、エプソン等 計1,300社

【サマトール社の概要】

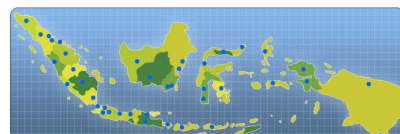
インドネシア最大の産業ガスメーカー

売上高: 約200百万米ドル(2012年度実績)

拠点数: インドネシア全土60拠点以上



サマトールグループ拠点



新規市場開拓 (アジア)

【合併会社の概要】

- ・商号 : PT. SAMATOR TAIYO NIPPON SANSO INDONESIA
- ・所在地 : インドネシア 西ジャワ州 ブカシ県 GIIC工業団地内
- ・資本金 : 6百万米ドル
- ・資本構成 : 大陽日酸 33% NOX 17% サマトール社 50%
- ・設立時期 : 2013年12月末(予定)

【今後の目標】

➢ 短期

日系メーカー、自動車関連、石油・ガス開発関連の中・下流マーケット開拓

➢ 中長期

オンサイト案件受注、サマトール社向けプラント納入



22

新規市場開拓 (アジア)

マレーシア サバ・オキシジェン社買収

【会社概要】

- ・2012年実績 : 売上高 356百万円、営業利益 33百万円(利益率9.3%)
- ・事業内容 : 産業ガス・医療用ガス製造販売
- ・事業テリトリー : 東マレーシア
サバ州
- ・従業員数 : 82名



新規市場開拓（アジア）

【買収の概要】

- ・リーデン社のマレーシア子会社を通じて
サバ・オキシジェン社株式100%を取得
- ・2013年11月上旬 買収予定



【買収の目的】

- ・当社グループにとって新市場となる
東マレーシアでのガスマーケット開拓
- ・サバ・オキシジェン社既存顧客向けに、
リーデン社取扱いの産業機材・安全具拡販
- ・3年後に売上高10億円を目指す



2014年3月期 通期連結業績予想

2014年3月期 通期連結業績予想

単位: 億円

	13年3月期 通期 (実績)	14年3月期 通期 (前回予想)	14年3月期 通期 (今回予想)	前期比 増減	増減率
売上高	4,683	5,140	5,140	+456	+9.7%
営業利益	248 5.3%	315 6.1%	300 5.8%	+52	+20.6%
経常利益	230 4.9%	293 5.7%	288 5.6%	+58	+24.9%
当期純利益	△20 △0.4%	194 3.8%	194 3.8%	+214	—

2014年3月期 通期 事業セグメント業績予想

単位: 億円

	2013年3月期 通期		利益率	2014年3月期 通期		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
産業ガス	2,980	213	7.2%	3,346	225	6.7%
エレクトロニクス	965	△5	△0.6%	990	36	3.6%
エネルギー	400	18	4.5%	418	19	4.5%
その他	337	32	9.8%	386	31	8.0%
調整額		△10			△11	
合計	4,683	248	5.3%	5,140	300	5.8%

2014年3月期 通期 地域セグメント業績予想

単位:億円

	2013年3月期 通期		利益率	2014年3月期 通期		利益率
	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
日 本	3,392	221	6.5%	3,524	238	6.8%
米 国	906	20	2.2%	1,146	47	4.1%
そ の 他	384	18	4.7%	470	27	5.7%
調 整 額		△12			△12	
合 計	4,683	248	5.3%	5,140	300	5.8%

注 意 事 項

- 本資料は、証券取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本説明会および本資料には将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しが記述されておりますが、これらは現時点で入手可能な情報により当社が判断、想定したものであり、実際の業績は様々なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限りません。）を含んでおります。
- このため、現時点での見込みとは異なる可能性がございますことをご承知おきいただき、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。